

Windows オペレーティング システムでの FireAMP コネクタのアップグレード

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[設定](#)

[手動アップグレード](#)

[コネクタのバージョンの更新](#)

[コマンドライン スイッチ](#)

[ポリシーによる導入](#)

[サードパーティ ツールを使用した導入](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連資料](#)

概要

パフォーマンスの向上、バグの修正、新機能の追加を目的として、FireAMP コネクタの新しいバージョンが随時リリースされます。このドキュメントでは、組織全体に導入されている FireAMP コネクタをアップグレードする手順を説明します。

前提条件

次の製品に関する知識があることが推奨されます。

- FireAMP Public Cloud
- FireAMP Connector for Windows

注: コネクタを Windows にインストールするには、管理者アクセス権が必要です。

設定

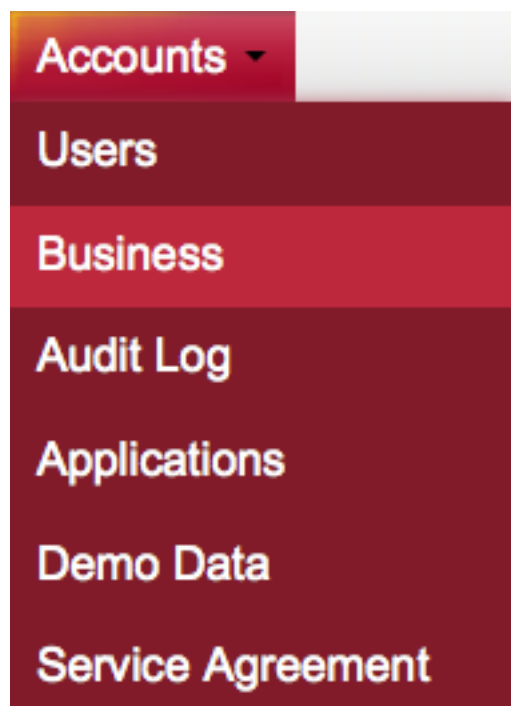
手動アップグレード

FireAMP コネクタを手動でアップグレードするには、新しいバージョンをダウンロードし、コンピュータで Administrator として新しいバージョンを実行します。

コネクタのバージョンの更新

最新バージョンをダウンロードしていることを確認するには、次の手順を実行します:

1. [Accounts] > [Business] に移動します。




2. [Default Product Versions] が [Latest] に設定されていることを検証します。このように設定されていない場合は、[edit] をクリックしてビジネス設定を変更できます。

3. [Edit Business] ページで [Default Connector Version] として [Latest] を選択し、[Update] ボタンをクリックして設定を更新します。


Edit Business

Business Name:

 FireAMP Windows


Default Policy:

Default Connector Version:

 FireAMP Android

Default Policy:

Default Connector Version:

 FireAMP Mac

Default Policy:

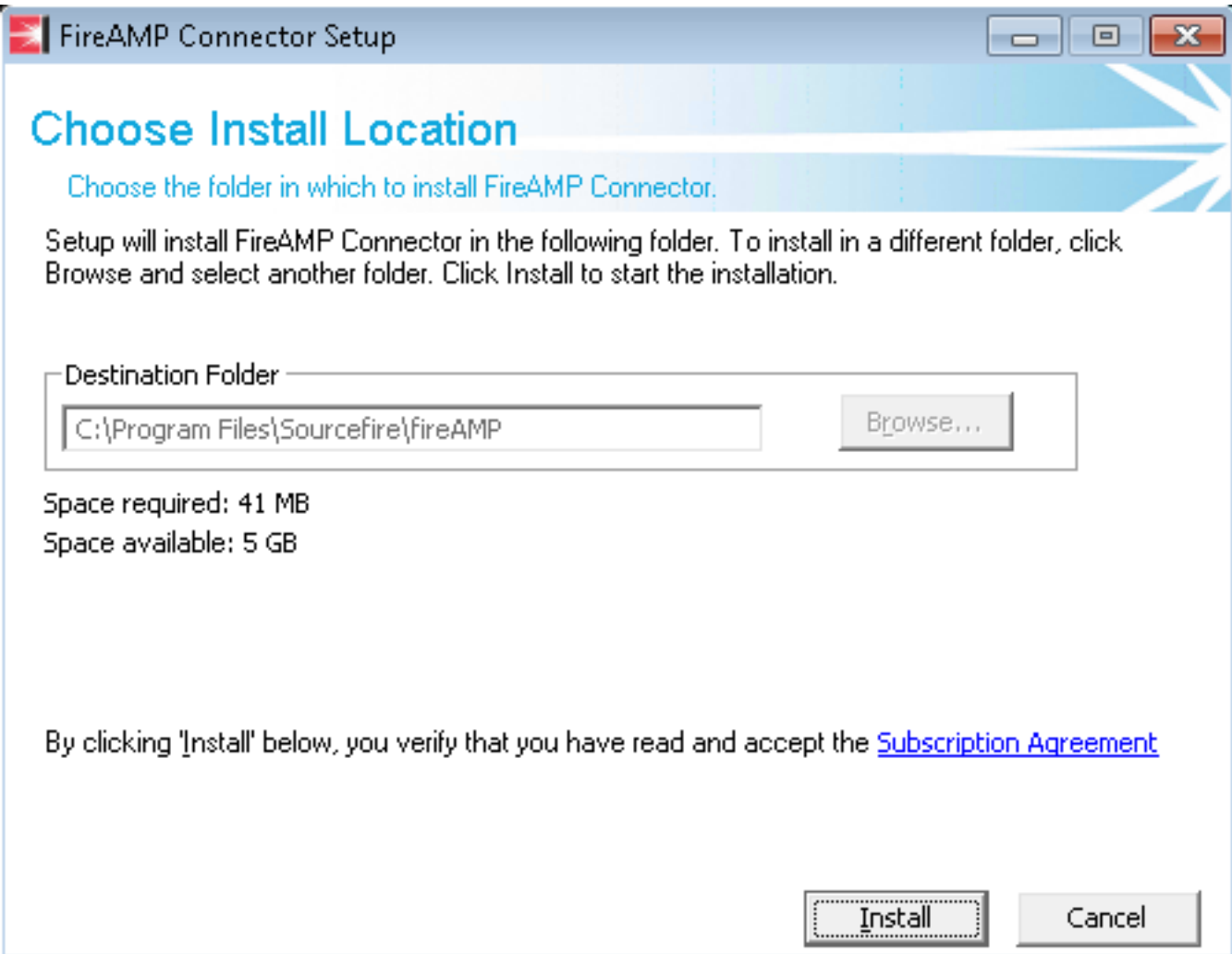
Default Connector Version:

コマンドラインスイッチ

コマンドラインスイッチを実行するには、コマンドラインプロンプトからインストールを開始する必要があります。スイッチを使用してコマンドラインからインストーラを実行する場合、サイレントインストールを実行するために /S スイッチを指定していない限り、ユーザインターフェイスが表示されます。再起動が必要ですが、再起動を求めるプロンプトは表示されません。

どのスイッチも含まない場合は、Windows Explorer からインストーラを実行できます。これによりユーザインターフェイスが起動します。

注: サービス、ドライバ、ファイルがすべて最新バージョンであるようにするため、再起動が必要です。



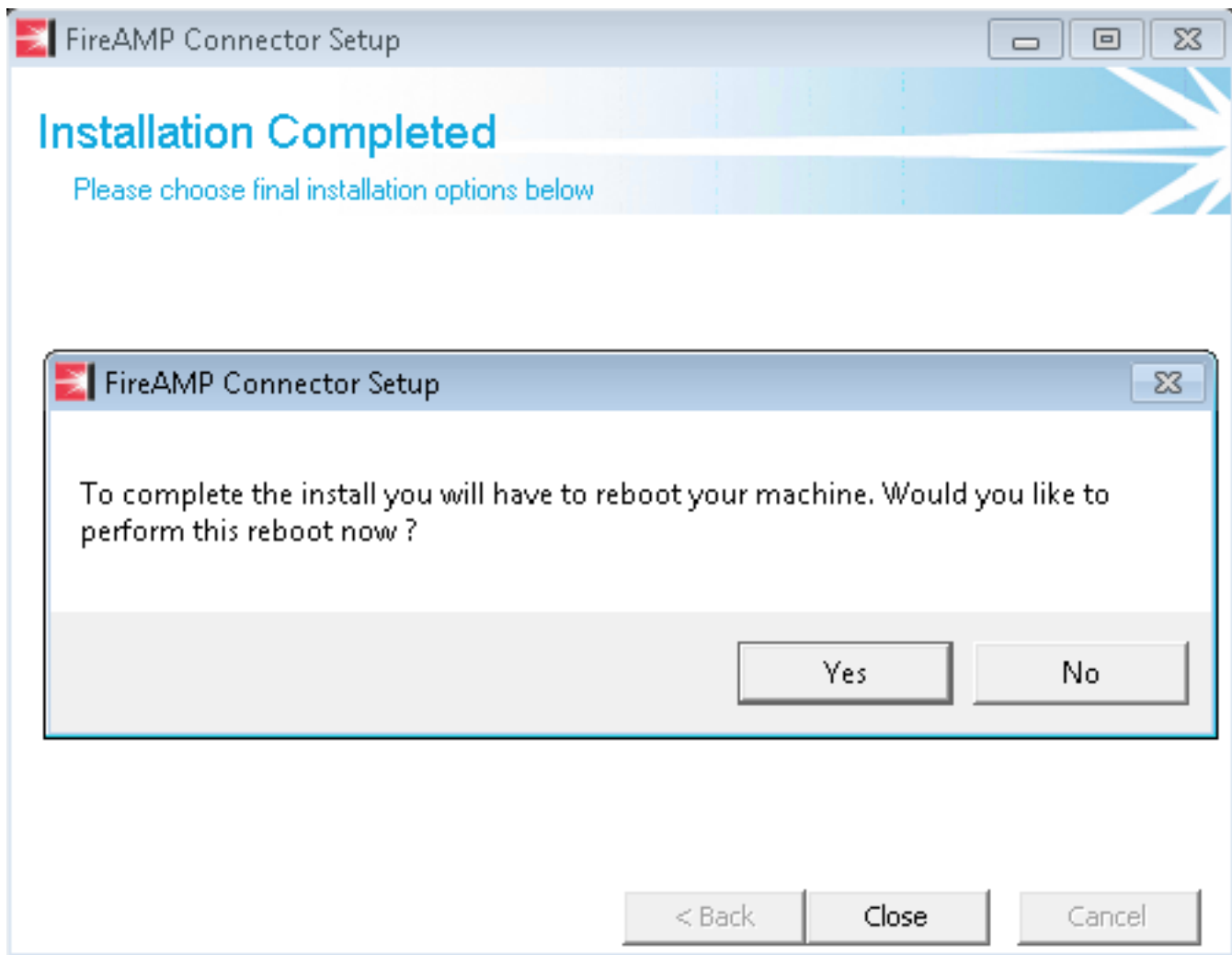
Installation Complete

Setup was completed successfully.

FireAMP Connector has Completed



Show details



ポリシーによる導入

注意： ポリシーを使用してアップグレードを行うと、インストールにはデフォルト スイッチが使用され、以前のバージョンで使用されていたスイッチは使用されません。

特定のコンピュータ グループの FireAMP のバージョンをアップグレードするには、ポリシーを変更します。これらのオプションは [General] > [Product Updates] にあります。

次に、FireAMP ポリシーで設定する必要がある [Product Updates] のオプションを示します。

Product Updates

Product Version	<input type="text"/>
Update Server	<input type="text"/>
Start Update Window	<input type="checkbox"/> Not Set
End Update Window	<input type="checkbox"/> Not Set
Reboot	<input type="text" value="Do not reboot"/>
Update Interval	<input type="text" value="1 hour"/>

[Product Version] : アップグレード後のバージョンです。

[Update Server] : このオプションは自動的に設定されます。

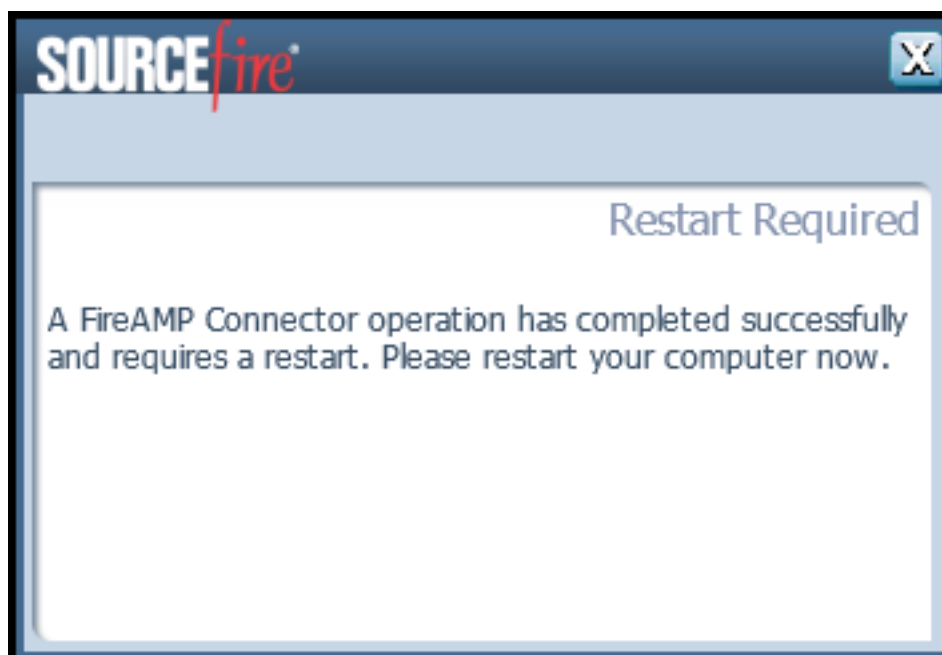
[Start Update Window] : コネクタに対しアップグレードの実行が求められる時点です。

[End Update Window] : コネクタに対しアップグレードの実行が求められなくなる時点です。

[Reboot] : FireAMP アップグレードを完了するには再起動が必要です。

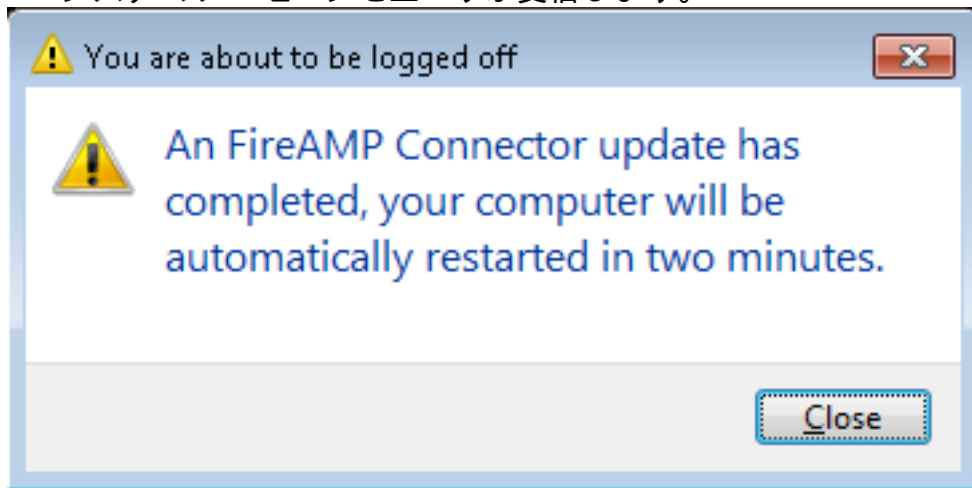
- [Do not reboot] を選択すると、再起動するまでは、ソフトウェアはシステムでの実行を再開しません。
- [Ask to reboot] を選択すると、FireAMP のアップグレードを完了するため再起動を要求するメッセージをユーザのトレイで受信します。

注: メッセージが表示されるのは、ポリシーでユーザ インターフェイスが有効になっている場合だけです。



- [Force a Reboot After 2 Minutes] を選択すると、再起動の保留が設定されていることを示す

システムメッセージをユーザが受信します。



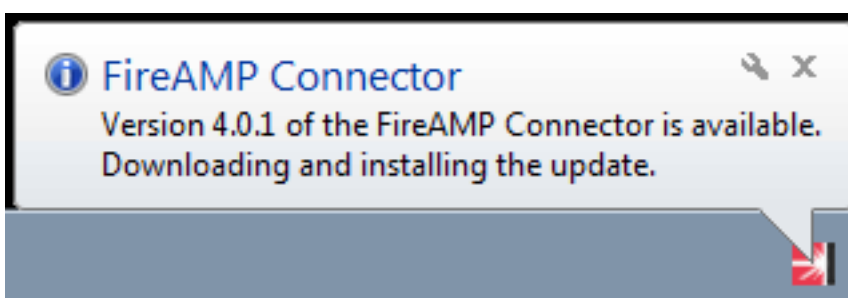
[Update Interval] : これは、Tetra 定義の更新に適用されるものであり、FireAMP コネクタのバージョンアップグレードには関係ありません。

サードパーティ ツールを使用した導入

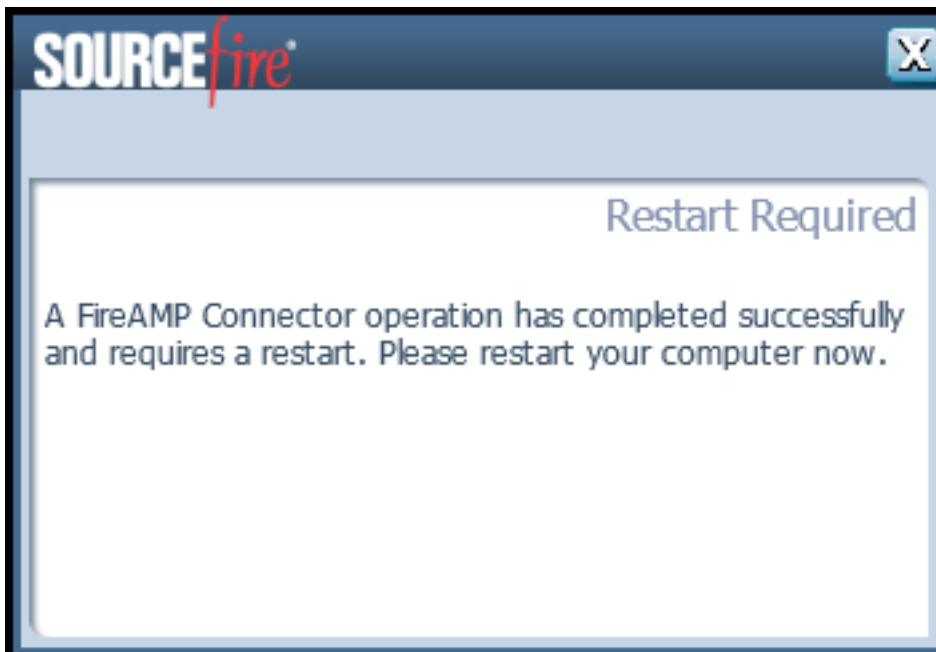
シスコでは、サードパーティ ツールを使用した FireAMP コネクタの導入はサポートしていません。

確認

ハートビート間隔に応じて、コネクタはアップグレードが有効であることを確認でき、アップグレードをバックグラウンドでサイレントに実行します。ポリシーでユーザ インターフェイスが有効になっている場合、受信する唯一の確認は、トレイに表示されるアップグレード進行中を示すバブル メッセージだけです。



また、再起動オプションを有効にしている場合は [Restart Required] プロンプトが表示されます。それ以外の場合は、サービスが実行中ではないことがわかります。



トラブルシューティング

インストールで問題が発生することは一般的ではありませんが、問題が発生した場合には次の操作を実行できます。

インストールが失敗した場合は、インストール プロセスでローカル システムに生成される `immpo_install.log` ファイルを見つけます。このファイルはさまざまな場所にある可能性があります。このファイルの最も一般的な場所は次のとおりです。

`%TEMP%`

`%WINDIR%\Temp`

このファイルがいずれのディレクトリにもない場合は、ハード ドライブでファイル名を検索します。ファイルが見つからない場合は、FireAMP コネクタのインストール時に管理者クレデンシャルを使用していること、およびログまたは一時ファイルの書き込みを妨げるソフトウェアがないことを確認します。

`immpo_install.log` ファイルが見つかったら、シスコ テクニカル サポートにお問い合わせください。

関連資料

- [FireAMP コネクタのインストーラのコマンドライン スイッチ](#)